

**アクションプラン**  
**第1期計画2年目報告書**  
**(令和2年度)**

**釧網線**

---

**令和3年8月**

**釧網線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画2年目の取組状況について、釧網線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第1期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、釧網線を持続的に維持する仕組みを構築するため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）において、より効果的な実施策を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,689百万円となり基準とした平成29年度より192百万円悪化した。  
営業収益は「くしろ湿原ノロッコ号」など観光列車の利用促進に取り組むものの、新型コロナウイルスの影響でご利用が大幅に減少した等により、収入が対前年142百万円減少した163百万円（対前年54%）となった。営業費用は令和2年3月に発生した土砂流出等の復旧費を計上したが、経費削減に取り組んだこと等により65百万円減少した1,852百万円（対前年97%）となった。営業損失は対前年76百万円減少した。
- ・輸送密度は236人/日となり基準とした平成29年度より138人/日減少した。

#### ▼令和2年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲1,497百万円	▲1,689百万円	▲192百万円	未達成
輸送密度	374人/日	236人/日	▲138人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証

#### (1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が86%、一部達成「△」が4%、未達成「×」が10%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。



##### ▼令和2年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	60	86%	「くしろ湿原ノロッコ号の利用増、運行に対するご協力」、「鉄道を活用した長期滞在者交流事業」、「THE ROYAL EXPRESS沿線おもてなし」、「集中工事を実施するしくみづくり」など
△	3	4%	「リーフレットの作成」など
×	7	10%	「限りある車両でどのようなダイヤが良いか意見交換の実施」など
合計	70	100%	



## 4. 令和2年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
(1)くしろ湿原ノロッコ号の利用増、運行に対するご協力	<p>7月より「くしろ湿原ノロッコ号」の運行を開始した。今年は世界3大夕日に数えられる釧路の夕日を楽しんでいたことと「夕陽ノロッコ号」も運行、地域の皆様とおもてなしを実施し、釧網線の利用促進に取り組んだ。</p>  <p>(令和2年9月30日撮影・塘路駅)</p>	◎
	<p>川湯温泉駅は、お客様に大変好評であることから「くしろ湿原ノロッコ号」を当駅まで延長運転した。標茶駅ではノベルティの配付やご当地キャラクターが出迎え、川湯温泉駅では、弟子屈町産ワイン試飲会を開催するなど、地域の皆様によるおもてなしを行った。</p>  <p>(令和2年10月3日撮影・川湯温泉駅)</p>	

## 4. 令和2年度象徴的な取組について②



取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(2) SL冬の湿原号利用増、運行に対するご協力</p>	<p>1月23日の運転初日、標茶駅の到着ホームでは沿線自治体のキャラクターによるお出迎えが行われた。また、SL運行に合わせ町内の飲食店まで無料送迎を行う「標茶グルメ号」が運行され、駅前では「しべちゃうまいもん発見市場」を開催するなど、地域の皆様と一体の取り組みを行った。</p>	 <p>(令和3年1月23日撮影・標茶駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(3)「THE ROYAL EXPRESS」沿線におけるおもてなし</p>	<p>8月～9月「THE ROYALEXPRESS」が釧網線で運行された。途中停車駅(釧路駅、標茶駅、摩周駅、川湯温泉駅、知床斜里駅)や列車が通過する沿線スポットにおいて地域の皆様による歓迎セレモニー、お見送り、手旗を振る等が行われ、ご利用になられたお客様に釧網線の魅力をPRした。</p>	 <p>(令和2年8月30日撮影・北浜駅付近)</p>	<p>◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(4)コストダウンの取組に対するご理解</p>	<p>令和元年ダイヤ改正時に廃止となった南弟子屈駅の駅舎を弟子屈町へ譲渡するにあたり、駅舎の移設が行われた。弟子屈町では、地域にとって思い出深い駅であり、今後は南弟子屈地域の歴史を伝えていくための貴重な資料館として活用を考えている。</p>	 <p>(令和2年5月13日撮影・旧南弟子屈駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(5)駅的环境美化の取り組み</p>	<p>清里高校生(ユネスコ部)や地域のボランティア団体らによる、駅舎内の清掃及び駅舎周辺やホームの花壇等にピンクや黄色の花苗を植え付けた。花壇整備においては、他数駅で実施されている。</p>	 <p>(令和2年6月30日撮影・清里町駅)</p>	<p>◎</p>



## 4. 令和2年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	取組状況等	目標達成
<p>(6) 釧網線とアクティビティをセットしたサービスの展開</p>	<p>オホーツク総合振興局が、釧網線の利用促進のため、鉄道とレンタサイクルを組み合わせた旅の提案を行う「鉄ちかサイクル特集」を制作した。網走駅、浜小清水駅、知床斜里駅、清里駅などにチラシを設置し、期間限定の割引キャンペーンを行うなど、利用促進に取り組んだ。</p>	 <p>(鉄ちかサイクル特集・オホーツク総合振興局制作)</p>	<p>◎</p>
<p>(7) PR活動の実施</p>	<p>JR釧網本線維持活性化実行委員会では、車内誌1、2月号に「SL冬の湿原号」、「流水物語号」と題した記事を掲載したほか、1月4日～31日には札幌駅のデジタルサイネージ広告、1月15日～2月7日には札幌近郊列車への中吊り広告を行い、冬の釧網線をPRした。</p>	 <p>(車内誌・令和3年2月号)</p>	<p>◎</p>



## 5. 令和2年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、釧網線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ 観光列車利用促進の取組やキャンペーンの展開などに地域の皆様と取り組み、観光線区としての線区特性を発揮した。
- ・ 線路の持続性を維持するため、令和2年度においても「線路集中メンテナンス日」を設定し、集中工事を行い、安全性向上を図った。
- ・ 釧網線アクションプラン実行委員会にはWILLERも参画しており、令和2年度も線区活性化のため、連携した取り組みの検討がなされた。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲192百万円、輸送密度は▲138人/日となり、目標は未達成にある。
- ・ 第2期集中改革期間においても、引き続き観光線区の強みを生かした取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、新型コロナウイルス収束後の挽回施策などにより線区収支改善を図る。

別紙

I. 利用促進

1 共通

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 利用実態調査	統計値では掌握しがたいお客様の層等を掌握するため実態調査の新設※	JR北海道 全自治体	◎										
(2) 輸送サービスの向上	限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	JR北海道 全自治体	×										
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組												
	ア. 広報誌やホームページ等を活用し鉄道特集記事を掲載	全自治体 その他	◎										
	イ マイレール運動の提唱	自治体	◎										
	ウ シンポジウム、意見交換会等の実施※	全自治体 その他	◎										
	エ フォトコンテスト等の実施	全自治体	◎										
	②「COOL CHOICE」の取組みやノーマイカーデー等実施による鉄道利用促進	自治体	◎										
	③リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について 利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	△										
④出前教室等の実施 教育現場にJR社員が赴く出前勉強会や駅の課外授業受け入れ等で線区に関するPRを行う※	JR北海道 全自治体	◎											

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
⑤小学生による駅舎ペインティング	自治体	◎											
	自治体	◎											
	自治体	◎											
(4) 他の交通機関等との連携	バス、タクシー等との相互連携の推進												
	ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	全自治体 JR北海道 その他	◎										
(5) 拠点としての駅の活用	①地域の皆様のご協力による観光案内所・売店・飲食店等の設置	自治体 JR北海道	◎										
	②駅舎の整備												
	ア. 待合室、ホーム屋根、トイレ等の駅設備の新設改修	自治体 JR北海道	◎										
	イ. Wi-Fi環境の整備・管理	自治体 JR北海道	◎										
	③駅前整備												
	駅前広場の整備	自治体	◎										
	④駅の活用												
	ア. 特色ある駅舎の整備	JR北海道 自治体	◎										
	イ. 駅の空スペースを事務所・会議室等として開放し、鉄道利用を促す取組	自治体	◎										
	⑤駅を中心としたにぎわい創出												
駅周辺に店舗・公共施設等の設置の拡大	自治体 その他	◎											
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	駅的环境美化の取り組み	自治体	◎										
(7) 全道利用促進取組との連携	北海道鉄道活性化協議会との連携	全自治体 北海道 JR北海道	◎										

2 生活利用

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	①「スマホ定期券」の活用	JR北海道	◎										
	②サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等の情報内容の充実	JR北海道	◎										
(2) 公共交通の利用促進	①マイレール意識の醸成に向け鉄道利用をよびかけるとともに乗車運賃等への助成	自治体	◎										
	②学生の通学定期券購入に対する助成制度の検討	自治体	◎										

3 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 国内外から釧網線にお越しただいたための取組	①商品造成やキャンペーンの実施												
	ア. 夏・冬の道東キャンペーンの実施、利用増	JR北海道	◎										
	イ. 観光型旅行商品の造成「道東周遊紀行」の継続、増売	JR北海道	◎										
	ウ. LCCと釧網本線をセットした商品の継続・増売	JR北海道 その他	◎										
	エ. 鉄道を利用する観光客への助成	自治体 JR北海道	◎										
	オ. 駅を発着し観光地・観光施設を巡るバスの運行※	自治体 その他	◎										
	②観光列車の運行												
	ア. くしろ湿原ノロッコ号の利用増、運行に対するご協力※	JR北海道 自治体 その他	◎										
イ. SL冬の湿原号の利用増、運行に対するご協力、SL協議会開催※	JR北海道 自治体 その他	◎											

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容		事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
	ウ. 流水物語号の利用増、運行に対するご協力※	JR北海道 自治体 その他	◎										
	③閑散期の需要創出 「フリーパス」等を活用した釧網線利用促進の取組	JR北海道	◎										
	④PR活動の実施												
	ア. 各種媒体によるPR	全自治体 JR北海道	◎										
	イ. パンフレット等の作成	全自治体 JR北海道	◎										
	⑤観光案内所の充実	自治体	◎										
	⑥宣伝協力 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力	協議会 JR北海道 全自治体	◎										
⑦その他 スマホを使った観光案内・外国語対応の実施	JR北海道	◎											
(2) 外部事業者との連携	観光鉄道としての利用促進の取組※	全自治体 WILLER JR北海道 その他	◎										
(3) 地域の皆様と連携した取組の推進	①観光資源の積極的な活用	自治体 JR北海道 その他	◎										
	②観光列車等利用促進や、駅装飾等にぎわいの創出に 取り組む市民団体等に対する助成	自治体 その他	△										
	③沿線でのイベント・施設などに関する情報共有や利用の 働きかけ	全自治体 その他	◎										
	④ヘルシーウォーキングやエコツーリズム推進に伴う ロングトレイル構想による利用促進	JR北海道 自治体	◎										
	⑤釧網線とアクティビティをセットしたサービスの展開 温泉・カヌー体験等	JR北海道 その他	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール									
			H29		H30		R1		R2			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
⑥ 鉄道を利用した長期滞在者との交流事業	自治体	◎										
⑦ 「オホーツクSEA TO SUMMIT」の開催において、釧網線を活用したコース設定により、釧網線のPRと利用促進を図る※	自治体 その他 JR北海道	◎										
⑧ ふるさと納税返礼品等	自治体	◎										
⑨ ふるさと納税者特別企画の実施	自治体	◎										
⑩ 仮想道の駅フェスティバルの実施	自治体	◎										
⑪ スタンプラリー&鉄道まつり	自治体 その他	◎										
⑫ 「THE ROYAL EXPRESS～HOKKAIDO CRUISE TRAIN」沿線におけるおもてなし	全自治体 北海道 JR北海道	◎										

※新型コロナウイルスの影響を受け、中止・事業縮小などが発生した取組

4 広域交通

取組内容		事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 出張等での鉄道利用	官公庁、域内事業者等による、出張等での鉄道利用の促進	全自治体 その他	◎										

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務委託のご相談										
	ア. 乗車券の発売	自治体	◎								
	イ. 観光案内や通訳業務 等	その他	◎								
	②業務のお手伝いのお願い										
	ア. 無人駅の施設管理	自治体	◎								
	イ. 除雪係員確保のお願い 等	自治体	◎								
	ウ. 駅前除雪	自治体	◎								
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止について各自治体との協議	自治体 JR北海道	◎								
	②極端にご利用の少ない踏切の見直しについて各自治体との協議	自治体 JR北海道	×								
	③極端にご利用の少ない駅トイレの利用停止について各自治体との協議	自治体 JR北海道	◎								

Ⅲ. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容		事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道	×										
	②2次交通との連携に向けた検討 ア 鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作り に向けた検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	×										
	イ 地域公共交通網形成計画の策定 鉄道、バスなどの連携による地域に最適な公共交通 の検討	自治体 JR北海道 その他	◎										
(2) 中長期的な利用促進策についての検討	中長期的視野に立った利用促進施策の検討	全自治体 JR北海道 その他	×										
(3) 中長期的な経費節減策についての検討	中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について 検討	全自治体 JR北海道 その他	×										
(4) 中長期的な街づくりについての検討	駅を中心とした都心部まちづくりの検討	自治体 JR北海道 その他	△										
(5) その他地域の皆様と一体となった取り組み	相互連携の検討	全自治体 JR北海道 その他	×										
(6) 中長期的に鉄道設備を維持するための取組の検討	中長期的に鉄道設備を維持するため、集中工事等を実施する仕組み作りを関係自治体と協議し行う	全自治体 JR北海道 その他	◎										

**アクションプラン**  
**第1期計画2年目報告書**  
**(令和2年度)**  
**花咲線**

---

**令和3年8月**

**花咲線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画2年目の取組状況について、花咲線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第1期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためにアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、花咲線を持続的に維持する仕組みを構築のため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）において、より効果的な実施策を検討していく。**



## 2. 基本指標・関連指標の検証

### (1) 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,194百万円となり、基準とした平成29年度より84百万円悪化した。  
営業収益は、新型コロナウイルスの影響を受け、収入が対前年67百万円減少し、103百万円（対前年60%）となった。営業費用は、車両維持費や輸送費用が減少したが、修繕費が増加したことにより、対前年19百万円増加し、1,296百万円（対前年102%）となった。
- ・輸送密度は、150人/日となり、基準とした平成29年度より114人/日減少した。

#### ▼令和2年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲1,110百万円	▲1,194百万円	▲84百万円	未達成
輸送密度	264人/日	150人/日	▲114人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証

#### (1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が76%、一部達成「△」が12%、未達成「×」が12%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

##### ▼令和2年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	44	76%	「花咲線利用可能性調査事業」「花咲線利用促進PR事業」「地域公共交通網形成計画の策定」「すずらん贈り」など
△	7	12%	「出前教室の実施」「ご利用の少ない駅の廃止についての協議」など
×	7	12%	「限りある車両でどのようなダイヤが良いか意見交換の実施」など
合計	58	100%	

## 4. 令和2年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(1) 普通列車を観光列車にする取組</p>	<p>平成30年6月1日から開始した花咲線利用促進の取組「いつもの列車で観光気分の新しい楽しみ方」を令和2年度から「いつもの列車で観光気分 花咲線の新しい楽しみ方」に名称を変更し、旅を楽しんでいただけるコンテンツとして、ご当地弁当を列車内であじわう取組みについて、新たに落石駅・茶内駅で販売を開始した。</p>	 <p>花咲線パンフレット</p>	<p>◎</p>
<p>(2) 花咲線利用実態調査事業の実施</p>	<p>8月1日から、9月27日までの土日祝日など1日2往復、計116便を1両増結(森の恵み車両など)するなど取組を拡大。ローカルディスタンスと題し、コロナ禍でのゆったりとした花咲線の旅をPR。また、運行初日、根室エリアの魅力を体験する「モニターツアー」を実施し、今後の利用可能性を調査した。</p>	 <p>(8月1日撮影・根室駅)</p>	<p>◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	取組状況等	目標達成
<p>(3)花咲線利用促進PR事業 「地球探索鉄道花咲線」の魅力向上や情報発信による認知度向上</p>	<p>令和3年8月5日に「JR根室本線全通100周年」を迎えるにあたり、タブロイド紙「花咲 点と線」記念特別号を発行しました。花咲線100年の歴史やファンからのお祝いメッセージ等を盛り込んだタブロイド紙を沿線の根室駅、厚岸駅、釧路駅のほか、札幌駅と新千歳空港駅に設置し、花咲線をPRした。</p> <p>また、交通事業者との連携によりバス・タクシーに「地球探索鉄道花咲線」のラッピングを施し、情報発信に取り組むとともに、他の交通機関との結節性の向上を図った。</p>	 <p>「地球探索鉄道花咲線」タブロイド紙記念号</p>  <p>「地球探索鉄道花咲線」ラッピングバス・タクシー</p>	<p>◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(4)地域の皆様と連携した取組 「鉄道を利用した長期滞在者との交流事業」</p>	<p>釧路市への長期滞在者に花咲線を体験していただく「花咲線モニターツアー」を実施した。ご利用のお客さまに霧多布湿原など花咲線沿線の自然の魅力を満喫いただきました。また、車内等で歴史を紹介するなど、花咲線をPRした。</p>	<div data-bbox="1341 464 1771 783" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1442 815 1675 839">(9月2日撮影・5627D車内)</p> <p data-bbox="1939 619 1984 660">◎</p>
<p>(5)他の交通機関等との連携 「地域公共交通網形成計画の策定」</p>	<p>浜中町は、町民の交通手段確保のため「地域公共交通網計画」を策定し、10月1日よりバス運行を開始した。「茶内駅」と「霧多布温泉ゆうゆ」を結ぶ町営バス(霧多布湿原線)は、花咲線の全ての列車と接続するよう改善され、お客さまの利便性が向上した。</p>	<div data-bbox="1290 919 1868 1283" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1447 1294 1706 1318">(10月1日撮影・茶内駅)</p> <p data-bbox="1939 1129 1984 1171">◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(6) 道内外から花咲線にお越しいただくための取組 「宣伝協力」</p>	<p>根室市は、「花咲線全通100周年」を告知するタペストリーを設置した。釧路駅では、駅をご利用になるお客さまの目に留まる改札口上に大型ポスターを設置し、花咲線の利用促進に取り組んだ。</p>	 <p>(3月30日釧路駅)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>
<p>(7) 当社の行き届かない取組に対するご協力 「駅的环境美化の取り組み」</p>	<p>別保駅エリアの自治会の皆様による駅舎のイルミネーション装飾が行われた。イルミネーションは手作りで制作されたもので、同駅の冬の風物詩としてご利用のお客様に大変喜ばれている。</p>	 <p>(12月23日撮影・別保駅)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>



## 5. 令和2年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、花咲線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ 根室市と花咲線利用可能性調査事業を行い、観光線区として線区の活性化を図るための施策の検討を行った。
- ・ 根室市がふるさと納税を活用した花咲線利用促進PR事業を推進し、道内外から誘客促進につながる機会創出のための取り組みを行った。
- ・ 浜中町が地域公共交通網形成計画を策定し、駅を交通拠点とした利用しやすい交通ネットワークを構築した。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲84百万円、輸送密度は▲114人/日となり、目標は未達成にある。
- ・ 第2期集中改革期間においても、引き続き観光利用増大に向けた取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、新型コロナウイルス収束後の線区収支改善を図る。

別紙

I. 利用促進

1 共通

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を把握するため実態調査の新設※	JR北海道 全自治体	◎										
	②花咲線利用可能性調査の実施	自治体 JR北海道	◎										
(2) 輸送サービスの向上	限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	×										
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組 ア. 広報誌やホームページ等を活用し鉄道特集記事を掲載	全自治体 その他	◎										
	②リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解頂く資料の作成	JR北海道	△										
	③出前教室等の実施 教育現場にJR社員が赴く出前勉強会や駅の課外授業受け入れ等で線区に関するPRを行う	JR北海道 全自治体	△										
	④生活科見学の一環としてJR体験乗車及び駅業務見学の実施※	自治体 JR北海道	◎										
	⑤「COOL CHOICE」の取組みやノーマイカーデー等実施による鉄道利用促進	自治体	◎										
(4) 他の交通機関等との連携	①バス、タクシー等との相互連携の推進 ア. ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	全自治体 JR北海道 その他	◎										
	イ. 鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた協議を実施	全自治体 JR北海道 その他	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール												
			H29		H30		R1		R2						
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期					
②地域公共交通網形成計画の実施 ア. 駅を町内の交通拠点(交通結節点)として利用し やすい町内公共交通ネットワークを構築する。 イ. 鉄道とバス等を組合せた域内総合時刻表の作成・配布	自治体 JR北海道	◎													
	自治体 JR北海道	◎													
	③地域公共交通網形成計画の策定 ア. 町民の交通手段確保及びその他旅客の利便の増進を図るため、バスの実証運行による花咲線との接続を計画する。 イ. 公共交通の利用状況を把握するため、JR・バス乗降調査を実施	自治体 JR北海道	◎												
		自治体 JR北海道	◎												
		(5) 拠点としての駅の活用	①駅の交通拠点化	自治体	◎										
			②観光案内所・売店の設置	自治体	◎										
③駅舎の整備 ア. 待合室の駅設備の改修 イ. Wi-Fi環境の整備	JR北海道	◎													
	JR北海道	◎													
(6) 全道利用促進取組との連携	北海道鉄道活性化協議会との連携の検討	全自治体 北海道 JR北海道	◎												
(7) 当社の行き届かない取組に対するご協力	駅的环境美化の取り組み	自治体	◎												

2 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) お客様サービスの向上	サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等情報内容の充実	JR北海道	◎										
(2) 公共交通の利用促進	①乗車運賃等への助成制度導入												
	ア. 市民団体等と連携したイベント等の企画・実施・協力並びに活動団体に対する助成制度の創設※	自治体	◎										
	イ. 幼稚園、学校行事等に対する補助※	自治体	◎										
	ウ. 高齢者等の移動に対する運賃補助	自治体	◎										
	②シンポジウム、意見交換会の実施												
	ア. 行事等で鉄道利用を促進・要請※	自治体	◎										
イ. 行事等での鉄道利用を実施する団体数増※	自治体	◎											

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 花咲線利用促進PR事業	花咲線利用促進PR事業への取組 「地球探索鉄道」花咲線の魅力向上や情報発信による 認知度向上	自治体 JR北海道	◎										
(2) 普通列車を観光列車にする 取組	普通列車を観光列車にする取組	自治体 JR北海道	◎										
(3) 道内外から花咲線にお越 しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施												
	ア. ひがし・きた北海道キャンペーン等の継続 関連商品の増売	JR北海道 その他	◎										
	イ. ご当地きっぷデザイン協力・販売協力	自治体 その他	◎										
	ウ. 花咲線を意識したツアーの企画・実施	自治体 JR北海道 その他	◎										
	エ. 花咲線と飲食店が連携した企画・販売	自治体 JR北海道 その他	◎										
	オ. 首都圏での宣伝展開※	自治体	◎										
	カ. 旅行企画造成依頼※	自治体	◎										
	②閑散期の需要創出												
「フリーパス」等を活用した花咲線利用促進の取組	JR北海道	◎											
③宣伝協力													
駅等での宣伝協力	自治体	◎											

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(4) 地域の皆様と連携した取組の推進	①観光資源の積極的な活用												
	ア. パンフレットやHPの作成連携※	自治体	◎										
	イ. 沿線自治体や観光協会等と連携したイベント等の企画・実施・協力※	JR北海道 全自治体 その他	◎										
	ウ. 特産品・グッズ等の企画・販売	JR北海道 その他	◎										
	エ. 観光協会事業で花咲線列車を利用した事業の実施	自治体 JR北海道	◎										
	オ. 観光イベント開催時において列車発着にあわせた無料シャトルバスの運行※	自治体 JR北海道	◎										
	②SNSでのJR企画等の情報発信※	自治体 JR北海道	◎										
	③ご利用客へすずらん贈りもの	その他 JR北海道	◎										
	④モニターツアーの実施	自治体	△										
	⑤鉄道を利用した長期滞在者との交流事業	自治体	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



4 広域交通

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 出張時の鉄道利用	官公庁・域内事業所等において、札幌などまでの出張時に、花咲線利用に取り組む	全自治体 JR北海道	◎										

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 設備の見直しやスリム化によるコスト削減	当社の行き届かない取組に対するご協力												
	ア. 駅前広場の除雪	自治体	◎										
	イ. 駅舎内トイレ清掃	自治体	◎										
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	△										
	②極端にご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	△										
	③ご利用の少ない駅トイレの利用停止について各自治体との協議	自治体 JR北海道	△										

Ⅲ. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	×										
	②2次交通と連携に向けた検討 鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み 作りに向けた検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	×										
(2) 中長期的な利用促進策につ いての検討	中長期的視野に立った利用促進策の検討	全自治体 JR北海道	×										
(3) 中長期的な経費節減策につ いての検討	中長期的視野に立った設備スリム化の可能性に ついて検討	全自治体 JR北海道	×										
(4) 中長期的な駅の活用策につ いての検討	中長期的視野に立った駅の活用策の検討	自治体 JR北海道	×										
(5) 中長期的な街づくりにつ ての検討	駅を中心とした都心部まちづくりの検討	自治体 JR北海道 その他	△										
(6) その他地域の皆様と一体と なった取組	相互連携の検討	全自治体 JR北海道	×										

**アクションプラン**  
**第1期計画2年目報告書**  
**(令和2年度)**  
**石北線**

---

**令和3年8月**  
**石北線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画2年目の取組状況について、石北線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第1期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、石北線を持続的に維持する仕組みを構築のため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）において、より効果的な実施策を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・ 線区別収支は、▲4,534百万円となり基準とした平成29年度より290百万円悪化した。  
営業収益は、新型コロナウイルスの影響でご利用が大幅に減少したことにより前年と比べ531百万円減少した605百万円（対前年53%）、営業費用は5,138百万円（対前年▲439百万円、92%）となり、営業損失は対前年92百万円拡大した。
- ・ 輸送密度は442人/日となり基準とした平成29年度より449人/日減少した。

#### ▼令和2年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (実績)	対目標	目標達成
線区別収支	▲4,243百万円	▲4,534百万円	▲290百万円	未達成
輸送密度	891人/日	442人/日	▲449人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証

#### 進捗状況

- ・アクションプランの具体的取組にあたっては、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら進め、進捗状況は目標達成「◎」が99%、一部達成「△」が1%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

#### ▼令和2年度アクションプラン進捗状況



進捗状況	件数	割合	コメント
◎	66	99%	コストダウンの取組に対するご理解をいただき「極端にご利用の少ない駅の見直し」や地域の皆様と連携した「ロイヤルEXP」の賑やかし等の項目において目標達成。
△	1	1%	リーフレットの作成について令和元年度は作成したものの令和2年度は作成に至らなかった。
合計	67	100%	

## 4. 令和2年度象徴的な取組について①



取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(1) ご利用の少ない駅の廃止などによる維持管理費の節減</p>	<p>地域の皆様のご理解をいただき、3月のダイヤ改正でご利用の少ない北日ノ出駅、將軍山駅、東雲駅、生野駅の4駅を廃止した。 また、4月から瀬戸瀬駅の維持管理を遠軽町が行うこととなった。</p>	 <p>(3月12日撮影・東雲駅)</p>	◎
<p>(2) 「THE ROYAL EXPRESS」のおもてなしの実施</p>	<p>THE ROYAL EXPRESSの営業運転日に網走駅、北見駅、遠軽駅及び旭川駅にてご当地キャラクターや地域の皆様による手旗や横断幕、太鼓演奏やアイヌ舞踊などおもてなしを実施した。</p>	 <p>(8月30日撮影・北見駅)</p>	◎





## 4. 令和2年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3) JR利用促進助成制度の実施</p>	<p>JR利用促進を目的にグループ旅行や幼稚園の鉄道遠足、特急列車利用のお客様などへの助成制度を設け、石北線の利用促進を行った。 (北見市、網走市、大空町、遠軽町、旭川市)</p> 	<p>◎</p>
<p>(4) 高校生による駅舎の待合室塗装と花壇整備の実施</p>	<p>北見工業高校建設科の皆様が学校の最寄り駅である東相内駅の環境整備として花壇整備と駅舎内のペンキ塗り直しを行った。</p>  <p>(8月4日撮影・東相内駅)</p>	<p>◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(5) 北海道鉄道140年記念列車おもてなし実施</p>	<p>北海道鉄道140周年記念列車として令和2年10月24日(土)、25日(日)に特急オホーツクと特急大雪を多目的特急車両「はまなす」編成で運行した。旭川駅と網走駅では、ご当地キャラクターや自治体の皆様によるおもてなしを実施し、石北線の魅力をPRした。</p>  <p>(10月25日撮影・網走駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(6) 「JR石北本線フォトギャラリーコンテスト」の開催</p>	<p>令和2年度から3年度にかけて実施する取組みで、四季の写真を募集し、優秀賞12作品でオリジナルカレンダーを作成する。令和2年度は9月から11月で秋のコンテスト、12月から2月で冬のコンテストを開催した。</p> 	<p>◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
(7) 交通マップ更新による利用促進	<p>北見市ではJR及び路線バスの乗り方や路線バスの系統図を掲載した「北見市交通マップ」を令和3年1月に更新し、JRの乗り方、支払い、特急列車の予約方法について掲載し、市民の皆様にご公共交通の利用促進を呼びかけた。</p> 	◎
(8) 駅周辺の環境美化活動の実施	<p>美幌町フラワーマスター連絡協議会、商店会、美幌高校ボランティアサークル等の美幌町民の皆さま61名により美幌駅及び駅周辺にマリーゴールドなど9種類、約6,000株の植栽を行った。</p>  <p>(6月6日撮影・美幌駅)</p>	◎

## 5. 令和2年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、石北線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ 経費節減を図るため、3月のダイヤ改正でご利用の少ない4駅を廃止し、1駅の維持管理を自治体が行うこととなった。  
また、ご利用の少ない3カ所の踏切を廃止した。
- ・ 「THE ROYAL EXPRESS」の営業運転日に網走駅、北見駅、遠軽駅及び旭川駅でご当地キャラクターや地域の皆様によるお出迎えとお見送りのおもてなしを実施した。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標に対して、線区別収支は290百万円悪化した。  
輸送密度は目標に対して▲449人/日となり目標は未達成にある。
- ・ 第2期集中改革期間においても、引き続き石北線の利用促進に向けた取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、新型コロナウイルス収束後の挽回施策などにより線区収支改善を図る。

別紙

I. 利用促進

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 利用実態調査	①統計値では把握したいお客様の層等を把握するための実態調査の新設	JR北海道 全自治体	◎										
(2) 輸送サービスの向上	①どのようなダイヤがよいか等、利用者のニーズを捉え、地域の皆様と意見交換の実施	自治体 JR北海道	◎										
(3) マイレール意識醸成	①公共交通マップ等の作成	自治体	◎										
	②地域住民向け沿線マップの作成・配布	自治体 JR北海道	◎										
	③通勤の際の鉄道を含めた公共交通利用促進	自治体 その他	◎										
	④地元住民との懇談会・シンポジウム・意見交換会等の実施	自治体	◎										
	⑤公共交通機関利用の呼びかけ												
	ア. 広報誌等を活用した鉄道利用の呼びかけ	全自治体	◎										
	イ. イベント実施時の鉄道利用促進PR会場でのチラシ配布※	自治体	◎										
	ウ. ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ	自治体	◎										
	エ. 利用促進パネル展の実施。 (追加)	自治体	◎										
	オ. 鉄道施設見学ツアー※ (追加)	自治体	◎										
(4) 他の交通機関等との連携	⑥リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	△										
	⑦鉄道施設見学会などの際にJR社員から線区に関する説明の実施	JR北海道	◎										
	⑧マイレール運動の提唱	自治体	◎										
	①バス等との相互連携の推進	自治体 JR北海道	◎										
(5) 拠点としての駅の活用	②イベント時の駅からの無料シャトルバスの運行※	自治体	◎										
	①駅前の整備 ア. 駅前で乗り継ぎ環境向上	自治体 その他 JR北海道	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
	②駅の活用												
	ア. 駅舎の待合環境の向上	自治体 JR北海道 その他	◎										
	イ. 駅内空きスペースの利活用	自治体	◎										
	③駅を中心とした街にぎわい創出の検討												
	ア. 駅周辺のスペースを活用した誘客等	自治体	◎										
	④駅舎周辺の環境整備※	自治体 その他	◎										
	⑤駅前広場駐車場との連携による利用環境の向上	自治体 JR北海道	◎										
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	①駅での観光案内、外国人通訳の確保等												
(7) 全道利用促進取組との連携	ア. 駅での観光案内の取り組み	自治体 JR北海道 その他	◎										
	①北海道鉄道活性化協議会との連携												
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	JR北海道 全自治体	◎										
	イ. 鉄道利用者の拡大 (追加)	JR北海道 全自治体	◎										
	ウ. 道外、海外観光客の利用拡大 (追加)	JR北海道 全自治体	◎										
エ. 本道の鉄道網の重要性に関する国民的理解、 応援機運の醸成 (追加)	JR北海道 全自治体	◎											

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

## 2. 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) お客様サービスの向上	①「スマホ定期券」の活用	JR北海道	◎										
	②大規模輸送障害発生時の運休等情報内容の充実	JR北海道	◎										
(2) 公共交通の利用促進	①行事等での鉄道利用の促進												
	ア. 行事等で鉄道を利用した際のJR乗車運賃等への助成	自治体	◎										
	イ. 行事等での鉄道利用の呼びかけ	自治体	◎										

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 道内外から石北線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 ア. ひがし&きた北海道キャンペーンの実施やLOCと タイアップしたフリーバスの設定	JR北海道	◎										
	②閑散期の需要創出 ・フリーバス等を活用した石北線利用促進の取組※	JR北海道 その他	◎										
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力	自治体 JR北海道 その他	◎										
	④鉄道利用旅行者への助成制度の導入	自治体	◎										
	⑤民間団体等による利用促進活動に対する支援※	自治体	◎										
	⑥流水物語号の魅力向上に向けた取組	自治体 その他	◎										
	⑦施設巡りバスによる着地型観光交通の取り組み	自治体 その他	◎										
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様にお出かけを促す ア. ヘルシーウォーキングの実施	自治体 JR北海道 その他	◎										
	イ. ご当地キャラクターによる乗車イベントの実施	自治体 JR北海道	◎										
	ウ. 鉄道施設を利用した乗車イベントの実施 (追加)	自治体 JR北海道	◎										
	エ. 鉄道周辺施設等の情報提供 (追加)	自治体	◎										
	②地域のお祭りやイベント等の告知などによる鉄道利用 促進												
	ア. 駅前広場や駅舎のイベント活用による賑わいの 創出※	自治体 JR北海道 その他	◎										
	イ. 地域イベントへの列車来場の誘引※	自治体 JR北海道	◎										
	③観光資源の積極的な活用												
	ア. フォトコンテストの実施	自治体 JR北海道	◎										
	イ. オホーツク鉄道祭り (追加)	自治体	◎										
	ウ. 新聞広告を活用した鉄道利用のPR (追加)	自治体	◎										
	エ. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成 (追加)	自治体	◎										
	④パンフレットやHPの作成連携												
ア. JR路線案内も含めた観光案内の実施	自治体	◎											

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	⑤特急列車内の特産品販売 ・石北線における実施	全自治体 JR北海道 その他	◎										
	⑥スタンプラリー等による利用促進策の実施※	全自治体 JR北海道 その他	◎										
	⑦サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	◎										
	⑧市民団体等による賑わいの創出に対する助成	自治体 その他	◎										
	⑨地域住民と連携した開駅周年イベントの実施 (追加)	自治体 その他	◎										
	⑩「THE ROYAL EXPRESS」運行に伴う 賑やかしの実施。 (追加)	全自治体 JR北海道	◎										
	⑪北海道鉄道140年を記念として運行した261系5000代 「はまなす」編成の列車の賑やかし実施 (追加)	全自治体 JR北海道	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

#### 4. 広域交通

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 出張や学校行事、都市間移動等 での鉄道利用	①官公庁、域内事業所等による出張等での鉄道利用の 促進	全自治体 その他	◎										
	②学校行事等での鉄道利用促進	自治体	◎										
	③えきねっとトクだ値による需要や動向を踏まえた割引 の設定	JR北海道	◎										



II. 経費節減

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①無人駅の管理 地域自治会等が管理している駅待合の管理の継続	自治体 その他	◎										
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議	自治体 JR北海道	◎										
	②ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	自治体 JR北海道	◎										

III. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	◎										
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道 その他	◎										
(2) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託の実施の検討	全自治体 JR北海道 その他	◎										
	②当社の行き届かない取組について自治体側での実施の検討	全自治体 JR北海道 その他	◎										
(3) 中長期的な経費節減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討	全自治体 JR北海道	◎										

**アクションプラン**  
**第1期計画2年目報告書**  
**(令和2年度)**  
**宗谷線**

---

**令和3年8月**  
**宗谷線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画2年目の取組状況について、宗谷線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第1期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、宗谷線を持続的に維持する仕組みを構築のため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）において、より効果的な実施策を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲5,767百万円となり基準とした平成29年度より203百万円悪化した。  
営業収益は新型コロナウイルスの影響による都市間利用の大幅な減少等により、営業収益が対前年432百万円減少した601百万円（対前年58%）、営業費用は197百万円増加した6,368百万円（対前年103%）となった。
- ・輸送密度は、名寄・稚内間で165人（対基準▲187人）となり、旭川・名寄間で827人（対基準▲625人）となった。

#### ▼令和2年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲5,564百万円	▲5,767百万円	▲203百万円	未達成
輸送密度 (名寄・稚内)	352人/日	165人/日	▲187人/日	未達成
輸送密度 (旭川・名寄)	1,452人/日	827人/日	▲625人/日	未達成

# 3. 具体的取組の検証

## 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組にあたっては、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が95%、一部達成「△」が4%、未達成「×」が1%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

### ▼令和2年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	82	95%	新型コロナウイルスの影響により未達成もあるが、代替や追加の取組により、取組項目の9割を達成することができた。「花たび そうや号」「はまなす編成」など観光列車運転に向け、おもてなしの準備を進めていたが、新型コロナウイルスの影響により運転中止となった。
△	3	4%	リーフレットの作成について令和元年度は作成したものの、令和2年度は作成に至らなかった。
×	1	1%	第2期集中改革期間に向けた取組において業務委託のご相談までには至らなかった。
合計	86	100%	

# 4. 令和2年度象徴的な取組について①

## (1) ご利用の少ない駅の見直し（駅廃止12駅、自治体維持管理駅17駅、計29駅）



### ■駅の廃止イベント



(令和3年3月11日 撮影)



# 令和2年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(2) 新型車両導入に伴う注意喚起</p>	<p>宗谷線旭川・名寄間への新型車両導入に伴い乗車方法が変更となることから、比布町、和寒町、剣淵町、士別市、名寄市の5市町は広報誌に注意点などを掲載して地域への周知を行った。</p>	 <p>▲開閉ボタン(車内側)</p> <p>(令和3年・名寄広報誌3月号)</p>	<p>◎</p>
<p>(3) JR利用促進ツアーの実施</p>	<p>8月2日・8日・28日、稚内市企画のツアー「JRでいく道北の魅力再発見 美深名寄」を実施した。3本の催行で合計65名の稚内市民が参加し、美深でトロッコ乗車体験や名寄でのブルーベリー狩りなどを楽しんだ。</p>	 <p>令和2年8月撮影・美深トロッコ王国</p>	<p>◎</p>

# 令和2年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
(4) 鉄道体験学習の実施	<p>10月18日、土別駅にて駅業務体験学習を実施した。小学生11名は改札業務や放送案内などを体験するとともに、鉄道の仕事について学び、鉄道への関心を高めた。将来、鉄道で働きたいという参加者もいた。</p>	 <p>(令和2年10月撮影・土別駅)</p> <p>◎</p>
(5) 集中メンテナンス工事の実施	<p>令和2年9月28日～10月9日、稚内駅～幌延駅間で、一部列車を運休して線路集中メンテナンスを行い、約2,200本の木製マクラギを交換した。実施にあたっては自治体広報誌を活用し、工事の実施や代行バス等の周知を行った。</p>	 <p>(令和2年10月撮影・幌延～豊富駅間)</p> <p>◎</p>



# 令和2年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(6) 駅的环境美化の取組</p>	<p>8月5日、美深町商工会女性部と青年部の皆様など総勢20名が美深駅跨線橋の清掃作業を実施した。72枚の窓を1枚1枚はずしての拭き掃除のほか、天井や床の掃除を行った。</p>	 <p>(令和2年8月撮影・美深駅)</p>	◎
	<p>6月中旬、音威子府村の高校生及び有志の皆様が、村内4駅(音威子府駅、天塩川温泉駅、咲来駅、箆島駅)に色とりどりの植栽を行った。</p>	 <p>(令和2年6月撮影・音威子府駅)</p>	◎

## 5. 令和2年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、宗谷線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止になってしまったが、観光列車「花たび そうや号」運行に向けて沿線自治体とJR北海道が一体となって諸準備を整えることができた。
- ・経費節減を図るため「ご利用の少ない無人駅の見直し」を行い、12駅を廃止し、17駅の維持管理を自治体で行うこととなった。
- ・線路の持続性を維持するため、幌延駅～稚内駅間において「集中メンテナンス日」を設定し、集中工事を行い、安全性向上を図った。
- ・新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区収支は▲203百万円、旭川～名寄827人/日(▲625人/日)、名寄～稚内165人/日(▲187/日)となり、両区間とも目標は未達成にある。
- ・第2期集中改革期間においても、引き続き観光線区の強みを生かした取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、新型コロナウイルス収束後の挽回施策などにより線区収支改善を図る。

宗谷線 具体的取組

I. 利用促進

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第1期2年間)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を把握するための実態調査の新設	JR北海道 全自治体	◎										
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様と意見交換を実施	自治体 JR北海道	◎										
(3) マイレール意識醸成	①通勤・出張の際の鉄道を含めた公共交通利用促進	自治体 その他	◎										
	②公共交通機関利用の呼びかけ												
	ア. JR関係企画展の開催	自治体	◎										
	イ. 広報誌等による鉄道利用の呼びかけ	自治体	◎										
	ウ. 応援ポスター等の作成及び実施	自治体 その他	◎										
	エ. 博物館等における鉄道歴史学習等	自治体	◎										
	オ. ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ	自治体	◎										
	カ. イベント実施時のJR利用促進PR会場でのチラシ配布等※	自治体	◎										
	キ. フォーラムの開催	自治体	◎										
	(追加)												
	ク. 利用促進パネル展の実施	自治体	◎										
	(追加)												
	ケ. 地元住民との懇談会・意見交換会の実施	自治体 その他	◎										
	(追加)												
コ. 宗谷線フォトコンテストの実施	全自治体	◎											
(追加)													
サ. 園児列車乗車体験	自治体	◎											
(追加)													
③リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	△											
④鉄道施設見学会などの際にJR社員による線区に関する説明の実施	JR北海道	◎											

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第1期2年間)	スケジュール									
			H29		H30		R1		R2			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(4) 他の交通機関等との連携	①バス、フェリー等との相互連携の推進											
	ア. JRダイヤ改正に合わせた地域バス時刻の変更	自治体 その他	◎									
	イ. イベント時の駅からの無料シャトルバスの運行※	自治体	◎									
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所・売店・飲食店等の設置											
	ア. 駅と隣接する観光情報センターの設置及び特別乗車票の販売等	自治体 JR北海道	◎									
	②駅舎の整備											
	ア. 駅の修繕・改修	自治体 JR北海道	◎									
	③駅前の整備、活用											
	ア. 駅前花壇整備	自治体 その他	◎									
	イ. パーク&トレインの拡大	自治体 JR北海道	◎									
	ウ. 駅前広場の改修	自治体 JR北海道	◎									
	エ. 駅前での乗り継ぎ環境向上	自治体 JR北海道	◎									
	オ. 駅前広場駐車場との連携による利用環境向上	自治体 JR北海道	◎									
カ. 冬季における駅前の装飾	自治体	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第1期2年間)	スケジュール									
			H29		H30		R1		R2			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(5) 拠点としての駅の活用	④駅の活用											
	ア. 駅内に移住促進の相談コーナーの設置	自治体 JR北海道	△									
	イ. 駅内の未使用空間の活用	その他	◎									
	ウ. 駅舎の待合環境の向上	自治体 JR北海道 その他	◎									
	⑤駅の利便性の向上											
	ア. 駅裏通路等の新設による利便性の向上	自治体	◎									
	イ. 駅前トイレの設置による利便性の向上 (5~10月)	自治体	◎									
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	①駅での観光案内、外国人通訳の確保、きっぷの販売等											
	ア. 駅におけるきっぷの販売	自治体 JR北海道	◎									
(7) その他地域の皆様と一体となった取組み	①協議会等での取組み	全自治体 JR北海道 その他	◎									
(8) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携											
	ア. 公共交通の利用促進にむけた道民運動の展開	JR北海道 全自治体	◎									
	イ. 鉄道利用者の拡大	JR北海道 全自治体	◎									
	ウ. 道外、海外観光客の利用拡大	JR北海道 全自治体	◎									
	エ. 本道の鉄道網の重要性に関する国民的理解、 応援機運の醸成	JR北海道 全自治体	◎									

2. 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第1期2年間)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) お客様サービスの向上	①大規模輸送障害発生時の運休等情報内容の充実	JR北海道	◎										
(2) 公共交通の利用促進	①鉄道利用促進のための補助制度等の検討および導入												
	ア. 高齢者へのJR回数券の交付	自治体	◎										
	イ. 高校通学生への通学補助	自治体	◎										
	ウ. JR乗車運賃等への助成 (追加)	自治体	◎										

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第1期2年間)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 道内外から宗谷線にお越し いただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 ・LCCとタイアップしたフリーバスの設定	JR北海道	◎										
	②閑散期の需要創出 ・フリーバス等を活用した宗谷線利用促進の取組※	JR北海道 その他	◎										
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力	JR北海道 自治体 その他	◎										
	④観光列車「風っこそうや」による観光需要の創出	JR北海道 全自治体 その他	◎										
	⑤観光列車「花たびそうや」運転による観光需要の創出※ (追加)	JR北海道 全自治体 その他	◎										
	⑥261系5000代「はまなす編成」運転による観光需要の 創出※ (追加)	JR北海道 自治体 その他	◎										
(2) 地域の皆様と連携した取組の 推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様を対象とした お出かけの呼びかけ												
	ア. 地域住民を対象とした日帰り旅行の実施	自治体	◎										
	イ. 町民乗車票販売による利便性確保	自治体 JR北海道	◎										
	ウ. ヘルシーウォーキングの実施※	自治体 JR北海道 その他	◎										
	②地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進												
	ア. イベント時の特急列車等増結への協力※	自治体 JR北海道	◎										
	イ. 駅等におけるイベントの実施※	その他	◎										
	ウ. 地域のイベントと連動した鉄道利用促進策の実施※	自治体 その他	◎										
	エ. イベント時のJR利用者に対する特産品プレゼント※	自治体	◎										
	オ. 鉄道関連イベントの実施による 鉄道利用促進の取り組み (追加)	自治体	◎										
	カ. さっぽろオータムフェストにおける宗谷線PRの実施 (追加)	自治体	◎										
	キ. 駅舎内のイベントを活用した地域住民による 賑わいの創出 (追加)	自治体 JR北海道	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第1期2年間)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	③観光資源の積極的な活用												
	ア. 駅舎や車両を題材とした絵画コンクール等の実施	自治体	◎										
	イ. 秘境駅保存のための「ふるさと納税」創設、保全イベントの実施	自治体 JR北海道	◎										
	ウ. 沿線PR活動等の実施	その他	◎										
	エ. 沿線観光名所の整備及び名所を活かしたイベントの開催	自治体 JR北海道 その他	◎										
	オ. サイクリング観光客への鉄道利用PR※	自治体 その他	◎										
	カ. 新聞広告を活用した鉄道利用PR (追加)	自治体	◎										
	キ. 鉄道利用のPRポスター、パンフレットの作成 (追加)	自治体	◎										
	④パンフレットやHPの作成連携												
	ア. イベントパンフレットや観光案内パンフレットによるJR利用の呼びかけ	自治体 その他	◎										
	イ. 秘境駅キャラクター名刺作成 (追加)	自治体	◎										
	⑤宗谷線を組み入れた旅行会社等と協力したイベント等の企画・実施												
	ア. ツアーの企画・実施	自治体 JR北海道	◎										
	⑥特産品・グッズ等の企画・販売												
	ア. 地元限定宗谷本線グッズ、駅PRグッズ等の販売等	自治体 その他	◎										
	⑦特急列車内の特産品販売※ ・宗谷線における継続実施	自治体 JR北海道 その他	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第1期2年間)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 出張や都市間移動等での鉄道利用	①官公庁における出張時の鉄道利用の取り組み※	全自治体	◎										
	②えきねっとokだ値による需要や動向を踏まえた割引の設定	JR北海道	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第1期2年間)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託の実施・乗車券の発売	自治体 JR北海道	◎										
	②駅舎、待合室の自治体等による維持管理	自治体	◎										
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止または自治体による維持管理についての各自治体との協議・第1期集中改革期間中に取り扱いを整理し、実施する。	自治体 JR北海道	◎										
	②ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	自治体 JR北海道	△										

Ⅲ. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容	事業主体	目標達成 (第1期2年間)	スケジュール									
			H29		H30		R1		R2			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について 徹底的な検討	①さらに利用されるダイヤの構築の研究等	自治体 JR北海道 その他	◎									
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道	◎									
(2) 拠点としての駅の活用	①観光案内所・売店・飲食店等の設置拡大の検討	自治体 JR北海道 その他	◎									
	②駅を中心とした街づくり ・駅周辺に店舗・公共施設の設置の推進のお願い	自治体 JR北海道	◎									
(3) 業務の一部をお願いすることによる 経費圧縮のご相談	①業務委託のご相談	自治体 JR北海道 その他	×									
	②業務のお手伝いのお願い	自治体 JR北海道 その他	◎									
	③当社の行き届かない取組に対するご協力	自治体 JR北海道 その他	◎									
(4) 中長期的な利用促進策について の検討	①中長期的な視点に立った利用促進の可能性について 検討※	自治体 JR北海道 その他	◎									
(5) 中長期的な経費節減策について の検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性に ついて検討	自治体 JR北海道	◎									
(6) 客貨混載の検討	①実施に向けた検討	JR北海道 自治体 その他	◎									
(7) 中長期的に鉄道設備を維持する ための取組の検討	①集中工事等を実施する仕組みづくりを関係自治体と 協議を行う。  (追加)	JR北海道 自治体 その他	◎									

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

**アクションプラン**  
**第1期計画2年目報告書**  
**(令和2年度)**  
**富良野線**

---

**令和3年8月**

**富良野線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画2年目の取組状況について、富良野線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第1期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、富良野線を持続的に維持する仕組みを構築のため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）において、より効果的な実施策を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・ 線区別収支は▲986百万円となり基準とした平成29年度より12百万円改善した。  
営業収益は、富良野線全線開通120周年記念イベントなどの利用促進に取り組んだが、新型コロナウイルスの影響でご利用が大幅に減少した241百万円（対前年▲132百万円、65%）、営業費用は1,227百万円（対前年▲161百万円、88%）となった。
- ・ 輸送密度は1,027人/日となり基準とした平成29年度より570人/日減少した。

#### ▼令和2年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (実績)	対目標	目標達成
線区別収支	▲998百万円	▲986百万円	12百万円	達成
輸送密度	1,597人/日	1,027人/日	▲570人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証



#### 進捗状況

- ・ アクションプランの具体的取組にあたっては、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら進め、進捗状況は目標達成「◎」が88%、一部達成「△」が6%、目標未達成「×」が6%となった。
- ・ 具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。


#### ▼令和2年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	46	88%	富良野線全線開通120周年記念イベント等において地域の皆さまと一体となった取組みにより項目の9割が目標クリアとなった。
△	3	6%	リーフレットの作成について令和元年度は作成したものの令和2年度は作成に至らなかった。
×	3	6%	業務の一部をお願いすることによる経費圧縮等の取組において、未達成となった。
合計	52	100%	

## 4. 令和2年度象徴的な取組について①



取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1) 富良野線全線開通120周年記念「山紫水明」号のおもてなし実施</p>	<p>富良野線全線開通120周年記念企画として10月10日(土)に「山紫水明」号で行く富良野日帰り団体を実施した。停車駅では、ご当地キャラクターや沿線の皆様によるおもてなしを実施した。</p>  <p>(10月10日撮影・上富良野駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(2) 「富良野・美瑛ノロッコ号」運転初日のおもてなし実施</p>	<p>富良野・美瑛ノロッコ号の運転初日となる7月18日(土)に旭川駅、美瑛駅、上富良野駅、中富良野駅及び富良野駅で、ご当地キャラクターや自治体の皆様による富良野・美瑛ノロッコ号のおもてなしを実施した。</p>  <p>(7月18日撮影・中富良野駅)</p>	<p>◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について②



取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3) JR富良野線120周年記念スタンプラリー実施</p>	<p>沿線自治体でつくる富良野線連絡会議では、7月18日(土)から富良野線120周年記念企画として沿線のご当地キャラクターとコラボした記念駅スタンプを旭川駅、美瑛駅、上富良野駅、中富良野駅及び富良野駅に設置し富良野線を巡るスタンプラリーを実施した。</p> 	<p>◎</p>
<p>(4) 「JR富良野線PR動画コンテスト」受賞作品のYouTube公開</p>	<p>富良野線の魅力を発信するため、令和2年7月より募集していた「JR富良野線PR動画コンテスト」の受賞作品を3月からYouTubeで公開した。</p> 	<p>◎</p>



## 4. 令和2年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成
(5) 「駅ピアノあさひかわ」の実施	<p>旭川駅舎内スペースを活用して、東コンコースにピアノを設置し鉄道利用のお客様以外の方にも気軽にご利用できるスポットとして「駅ピアノあさひかわ」を実施した。</p>  <p>(10月1日撮影・旭川駅)</p>	◎
(6) 「利用実態調査」の実施	<p>旭川市がJRの利用促進策を進めるうえで、旭川駅を発着する富良野線、石北線及び宗谷線の季節毎のご利用状況の把握を目的にご利用調査を行った。</p>  <p>(6月25日撮影・旭川駅)</p>	◎

# 4. 令和2年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(7) 広報誌に町と鉄道の歩みを紹介</p>	<p>中富良野町の広報誌6月号に中富良野125年の歩み「中富良野の鉄道」として富良野線と中富良野駅の開駅と中富良野町の開拓について掲載し、鉄道と町の歩みを紹介して鉄道に関心を高める取組を行った。</p>  <p>(広報誌6月号の掲載紙面)</p>	<p>◎</p>
<p>(8) 「JRふらの線ぶらっとMAP」を作成</p>	<p>JR富良野線連絡会議は、駅周辺の観光スポットやレジャー施設、飲食店など沿線の魅力を紹介した「JRふらの線ぶらっとMAP」を作成し、駅や公共施設などに設置した。MAPに施設の割引特典を付けるなど、富良野線沿線の皆様と利用促進を行った。</p> 	<p>◎</p>

## 5.令和2年度取組の検証

- ・新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、富良野線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標に対して、線区別収支は12百万円改善したが、輸送密度は1,027人/日(▲570人/日)となり、目標は未達成にある。
- ・令和2年度は、富良野線全線開通120周年を記念した装飾を行うとともに記念ツアーで運行した「山紫水明号」や「富良野・美瑛ノロッコ号」運転初日に地域の皆様と一体となって賑やかな取組を行った。
- ・第2期集中改革期間においても、引き続き富良野線の観光資源の強みを生かした取り組みを行うとともに、経費節減をより一層推進し、新型コロナウイルス収束後の挽回施策などにより線区収支改善を図る。

# 別紙

## I. 利用促進

### 1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を把握するための実態調査の新設	JR北海道 全自治体	◎										
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様と意見交換を実施	自治体 JR北海道	◎										
(3) マイレール意識醸成	①通勤の際の鉄道利用の呼びかけ	自治体 その他	◎										
	②地元住民との懇談会・シンポジウム・意見交換会等の実施	全自治体 JR北海道	◎										
	③リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	△										
	④鉄道施設見学会などの際にJR社員から線区に関する説明の実施※	JR北海道 自治体	◎										
	⑤公共交通機関利用の呼びかけ												
	ア. 広報誌等による鉄道利用の呼びかけ	全自治体	◎										
	イ. イベント実施時の鉄道利用促進PR 会場でのチラシ配布※	自治体	◎										
	ウ. 鉄道施設見学ツアー実施※	全自治体 JR北海道	◎										
	エ. 地域住民向け沿線観光マップの作成・配布の実施	全自治体	◎										
	オ. ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ	自治体	◎										
カ. 利用促進パネル展の実施 (追加)	自治体	◎											

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(4) 他の交通機関等との連携	①バス等との相互連携のための勉強会の実施 ・ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡	自治体 JR北海道 その他	◎										
	②イベント時の駅からの無料シャトルバスの運行※	自治体	◎										
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所設置	自治体	◎										
	②駅前の乗り継ぎ環境の向上	自治体 その他	◎										
	③駅前広場駐車場との連携による利用環境の向上	自治体 JR北海道	◎										
	④駅内スペースの活用 ・駅舎の待合環境の向上	自治体 JR北海道 その他	◎										
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	①外国人への通訳対応	自治体	◎										
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携 ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	JR北海道 全自治体	◎										
	イ. 鉄道利用者の拡大 (追加)	JR北海道 全自治体	◎										
	ウ. 道外、海外観光客の利用拡大 (追加)	JR北海道 全自治体	◎										
	エ. 本道の鉄道網の重要性に関する国民的理解、 応援機運の醸成 (追加)	JR北海道 全自治体	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

## 2. 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) お客様サービスの向上	①大規模輸送障害発生時の運休等情報内容の充実	JR北海道	◎										
(2) 公共交通の利用促進	①行事等での鉄道利用の呼びかけ	自治体	◎										
	②鉄道利用促進のための補助制度等の検討および導入	自治体	◎										

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 道内外から富良野線にお越し いただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 ・富良野・美瑛キャンペーンの実施 ・観光列車の運行 等	JR北海道	◎										
	②閑散期の需要創出 ・フリーパス等を活用した富良野線利用促進の 取組	JR北海道 その他	◎										
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力	JR北海道 自治体 その他	◎										
	④富良野線「音声ガイド」GPSアプリの実施	JR北海道	◎										
(2) 地域の皆様と連携した取組の 推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様を対象とした お出かけの呼びかけ												
	ア. ヘルシーウォーキングの実施※	自治体 JR北海道 その他	◎										
	イ. ご当地キャラクターによる乗車イベントの 実施※	全自治体 JR北海道	◎										
	ウ. 鉄道施設を利用した乗車イベントの実施	自治体	◎										
	②地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用 促進												
	ア. 駅舎内及び駅前広場のイベント活用による 賑わいの創出※	自治体 JR北海道 その他	◎										
	③観光資源の積極的な活用												
	ア. フォトコンテスト、写真コンクールの実施	全自治体 JR北海道	◎										
	イ. JR路線案内も含めた観光案内の実施	自治体	◎										
	ウ. 新聞広告を活用した鉄道利用のPR (追加)	自治体	◎										
	エ. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成 (追加)	自治体	◎										
	④町イベント等のポスターを駅舎に掲示	自治体 JR北海道	◎										
	⑤サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	◎										
	⑥富良野線120周年関連イベントの実施	JR北海道 自治体	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 出張や学校行事、都市間移動等での鉄道利用	①官公庁、域内事業所等による出張等での鉄道利用の促進	自治体	◎								
	②学校行事等での鉄道利用の呼びかけ	自治体	◎								

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①無人駅の管理 地域自治会等が管理している駅待合の管理の継続	自治体	◎								
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	自治体 JR北海道	△								

III. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	◎								
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道 その他	◎								
(2) 拠点としての駅の活用	①駅舎の整備										
	ア. 駅舎バリアフリーにむけた検討協議	自治体	△								
(3) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務委託のご相談	全自治体 JR北海道 その他	◎								
	②業務のお手伝いをお願い	全自治体 JR北海道 その他	×								
	③当社の行き届かない取組に対するご協力	全自治体 JR北海道 その他	×								
(4) 中長期的な経費節減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討	全自治体 JR北海道	×								

**アクションプラン**  
**第1期計画2年目報告書**  
**(令和2年度)**  
**根室線**

---

**令和3年8月**

**根室線アクションプラン実行委員会**



# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画2年目の取組状況について、根室線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第1期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、根室線を持続的に維持する仕組みを構築のため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）において、より効果的な実施策を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

#### ○滝川～富良野間

- ・線区別収支は▲972百万円となり、基準とした平成29年度より298百万円改善した。営業収益は56百万円（前年比▲74百万円、43%）、営業費用は1,027百万円（前年比▲192百万円、84%）となった。
- ・輸送密度は190人/日となり、基準とした平成29年度より238名/日減少した。

#### ○富良野～新得間

- ・線区別収支は▲734百万円となり、基準とした平成29年度より29百万円下回った。営業収益は21百万円（前年比▲11百万円、66%）、営業費用は755百万円（前年比▲139百万円、84%）となった。
- ・輸送密度は57人/日となり、基準とした平成29年度より35名/日減少した。

#### ▼令和2年度基本指標の収支状況

区間	項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (実績)	対目標	目標 達成
滝川 ～ 富良野	線区別収支	▲1,270百万円	▲972百万円	298百万円	達成
	輸送密度	428人/日	190人/日	▲238人/日	未達成
富良野 ～ 新得	線区別収支	▲705百万円	▲734百万円	▲29百万円	—
	輸送密度	92人/日	57人/日	▲35人/日	—

### 3. 具体的取組の検証

#### 進捗状況

- ・アクションプランの具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が75%、一部達成「△」が8%、未達成「×」が18%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。



#### ▼令和2年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	38	75%	根室線の魅力を多くの人に知ってもらい、鉄道利用の需要喚起と沿線地域の活性化を図るため、根室本線対策協議会がPR動画を作成した。
△	4	8%	「あるべき交通体系の検討」に関する議論を開始した。
×	9	18%	
合計	51	100%	



# 4. 令和2年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1)マイレール意識醸成</p>	<p>根室線の利用促進・意識醸成を図るため、根室本線対策協議会がクリアファイルを4,000枚作成した。沿線地図と主な駅の歴史が紹介されており、沿線自治体在住の小学生に配布した。</p>	 <p style="text-align: center;">◎</p>
	<p>根室線の魅力を多くの人に知ってもらい、鉄道利用の需要喚起と沿線地域の活性化を図るため、根室本線対策協議会がPR動画を作成した。沿線自治体のホームページからもアクセスできるようYou Tubeで公開した。</p>	  <p style="text-align: center;">◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成	
(2) 駅的环境美化の取組	<p>「春の駅前周辺美化植栽整備活動」をふらの観光協会の呼びかけにより実施し、花壇の整備を行った。ポットには、富良野市の特産品であるワイン樽を使い、ラベンダーを中心とした花々を植えた。</p>	 <p>(令和2年6月11日撮影・富良野駅)</p>	◎
(3) 公共交通の利用促進	<p>根室本線対策協議会の助成事業として、南富良野町内の小学生35名が、東鹿越～山部・下金山～富良野間で体験乗車をし、列車の乗り方などを学び、鉄道に関心を高めてもらう取り組みを行った。</p>	 <p>(令和2年9月11日撮影・下金山駅)</p>	◎

## 4. 令和2年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等		目標達成
(4)コストダウンの取組に対するご理解	<p>根室線赤平～茂尻間の「21線踏切」について、赤平市と協力し踏切の利用調査を行い、ご利用が少ないことが確認され、地域の皆様のご理解を得られたことから、11月25日をもって廃止した。</p>	 <p>(令和2年11月撮影・赤平市内)</p>	◎
(5)あるべき交通体系について徹底的な検討	<p>9月の土・日・祝(計8日間)に人気観光地であるトナムと富良野エリアを結ぶ交通体系確保や充実に向けた検討を行うため、北海道観光振興機構の支援を受けて「富良野・美瑛ノロッコ号」と接続するモニターバスの実証運行を行った。</p>	 <p>(令和2年9月5日撮影・星野リゾート トナム)</p>	◎



## 5. 令和2年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、J R北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進した。
- ・ 基本指標とした滝川～富良野間の線別収支は、基準とした平成29年度を上回り、目標を達成することができた。
- ・ ご利用の少ない踏切を抽出し、利用実態等の調査・確認を行い、ご利用が少ないことが確認された踏切の廃止を実施し、経費節減を図った。
- ・ 根室本線対策協議会の事業として実施した、根室線利用促進の取り組みにより、沿線住民、道内外のお客様に対して確かなPRを実施した。
  - ① 根室線PR動画作成
  - ② 小学生向け乗車体験の実施
  - ③ クリアファイルの作成（沿線在住小学生に配布）など
- ・ 観光ルートとしての交通体系確保・充実に向けた富良野～トマム間のモニターバスの試行を実施し、ご利用者アンケートの集計・分析を行い、地域関係者と次年度運行について、改善点や利用促進などを協議した。

根室線 具体的取組

I. 利用促進  
1. 共通

取組内容	区間		事業主体	目標達成	スケジュール								
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		R1		R2		
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 利用実態調査	◎	◎	全自治体 JR北海道	◎									
(2) 輸送サービスの向上	◎	◎	全自治体 JR北海道	×									
(3) マイレール意識醸成	①JR北海道に対する関心を高める取組												
	ア. 広報誌やホームページ等によるJRに関する情報掲載	◎	◎	全自治体	◎								
	イ. 鉄道とバス等を組み合わせた域内総合時刻表の作成・配付	◎	◎	自治体	◎								
	ウ. 自治体によるJR時刻表の作成・配布		◎	自治体	◎								
	エ. 地元住民との懇談会・意見交換会等の実施	◎	◎	自治体 JR北海道	◎								
	オ. シンポジウムの実施	◎	◎	協議会	◎								
	カ. PRツールの作成	◎	◎	協議会	◎								
	②ノーマイカーデーの実施		◎	自治体	×								
	③フォトコンテストの写真を活用した年間カレンダーの作成・配布	◎	◎	全自治体 その他	◎								
④リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革の内容等について、利用者にご理解いただく資料の作成	◎	◎	JR北海道	△									
⑤鉄道教室の実施 教育現場にJR社員が赴き線区に関するPRを実施※	◎	◎	JR北海道 全自治体	◎									
(4) 他の交通機関等との連携	◎	◎	自治体 JR北海道 他交通機関	◎									

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



取組内容	区間		事業主体	目標達成	スケジュール									
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		R1		R2			
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(5) 拠点としての駅の活用 及びその検討	①観光案内所の設置	◎	◎	自治体	◎									
	②駅舎の整備													
	ア. 駅舎・待合室の整備	◎	◎	自治体 JR北海道	◎									
	イ. トイレ整備	◎	◎	自治体 JR北海道	◎									
	③駅前の整備													
	ア. 駅前広場の整備	◎	◎	自治体	◎									
	イ. お客様向け駐車場の整備		◎	自治体 JR北海道	◎									
④駅の活用														
ア. 地域の皆様に自由に使っていただく駅の拡大	◎	◎	自治体	◎										
⑤駅を中心とした街づくり														
ア. 駅周辺に店舗・公共施設の設置拡大	◎	◎	自治体	◎										
(6) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	①駅における大型荷物対応	◎	◎	自治体 その他	◎									
	②駅の環境美化の取組	◎	◎	自治体 その他	◎									
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携	◎	◎	全自治体 JR北海道	◎									

## 2. 生活利用

取組内容	区間		事業主体	目標達成	スケジュール								
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		R1		R2		
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) お客様サービスの向上	◎	◎	JR北海道	◎									
(2) 公共交通の利用促進	◎	◎	自治体	◎									
	◎	◎	自治体	◎									

## 3. 観光利用

取組内容	区間		事業主体	目標達成	スケジュール								
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		R1		R2		
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 道内外から根室線にお越しいただくための取組	◎	◎	JR北海道	◎									
	◎		自治体 JR北海道	◎									
	◎	◎	JR北海道	◎									
	◎	◎	自治体 JR北海道	◎									
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	◎	◎	自治体	◎									
	◎		自治体	◎									

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

#### 4. 広域交通

取組内容	区間		事業主体	目標達成	スケジュール								
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		R1		R2		
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 都市間移動時の利用促進	①札幌等への出張時に、滝川・新得・富良野までの鉄道利用	◎		自治体	◎								
	②学校行事における鉄道利用の提案・呼びかけ※	◎	◎	自治体 JR北海道	◎								

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

#### II. 経費節減

取組内容	区間		事業主体	目標達成	スケジュール								
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		R1		R2		
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託												
	ア. 乗車券の発売	◎		自治体	◎								
	イ. 案内業務等	◎		自治体	◎								
	ウ. 駅舎の管理		◎	自治体	◎								
(2) コストダウンの取組に対するご理解 (個別協議)	①極端にご利用の少ない駅の廃止について 各自治体との協議	◎	◎	自治体 JR北海道	×								
	②ご利用の少ない踏切の見直しについて 各自治体との協議	◎	◎	自治体 JR北海道	◎								
	③老朽化した駅舎・跨線橋の見直し ・撤去、簡易なものへの置き換え等	◎	◎	自治体 JR北海道	×								

Ⅲ. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容	区間		事業主体	目標達成	スケジュール									
	滝川 ～ 富良野	富良野 ～ 新得			H29		H30		R1		R2			
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 3つの側面からの検討・協議(生活・観光・物流)	①協議会の開催 ・協議会の方針に基づき、事務レベル会議を含めて、各種テーマの検討を進める	◎	◎	自治体 JR北海道	◎									
	②ヒアリングの実施	◎	◎	自治体 JR北海道	×									
(2) あるべき交通体系について徹底的な検討	①2次交通も含めたあるべき交通体系について検討													
	ア. 鉄道と各種バスとの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討	◎	◎	自治体 JR北海道	△									
	イ. 並行するバス、沿線住民の鉄道利用状況を踏まえた持続的な利便性の高い交通体系にむけた協議	◎	◎	自治体 JR北海道	△									
	ウ. 観光ルートとしての交通体系確保・充実に向けたバスの検討・試行		◎	自治体 JR北海道	◎									
	②富良野～新得間における、あるべき交通体系の検討		◎	自治体 JR北海道	△									
(3) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	◎	◎	自治体 JR北海道 その他	×									
(4) 拠点としての駅の活用の検討	①駅前周辺の再整備		◎	自治体 JR北海道	◎									
	②駅舎の整備	◎	◎	自治体 JR北海道	×									
(5) 中長期的な経費節減策の検討	①中長期的な視点に立った設備内容のスリム化検討	◎	◎	自治体 北海道 JR北海道	×									
(6) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①当社の行き届かない取組に対する自治体側での実施の検討	◎	◎	自治体 北海道 JR北海道	×									

※協議に期限?

**アクションプラン**  
**第1期計画2年目報告書**  
**(令和2年度)**  
**室蘭線**

---

**令和3年8月**

**室蘭線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画2年目の取組状況について、室蘭線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第1期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、室蘭線を持続的に維持する仕組みを構築のため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）において、より効果的な実施策を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,161百万円となり基準とした平成29年度より72百万円改善した。  
営業収益は新型コロナウイルスの影響でご利用が大幅に減少した等により、収入が対前年31百万円減少した90百万円（前年比74%）となった。また、営業費用は大雪による除雪費の増加等があり、22百万円増加した1,251百万円（前年比102%）となった。営業損失は対前年54百万円増加した。
- ・輸送密度は305人/日となり基準とした平成29年度より、134人/日減少した。

#### ▼令和2年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲1,233百万円	▲1,161百万円	72百万円	達成
輸送密度	439人/日	305人/日	▲134人/日	未達成

# 3. 具体的取組の検証

## (1) 進捗状況



- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が74%、一部達成「△」が11%、未達成「×」15%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

### ▼令和2年度アクションプラン進捗状況



進捗状況	件数	割合	コメント
◎	35	74%	「利用実態調査」「広報誌による利用促進特集記事掲載」「ウォーキングイベントによる勧誘」「地域イベント・お祭りの活用」などの取組み
△	5	11%	「エリア内地上一般放送活用による鉄道利用促進広報活動の実施」「リーフレットの作成」などの取組み
×	7	15%	「限りある車両でどのようなダイヤがよいか、自治体のご意見をお聞きする意見交換の実施」「相互連携の検討」などの取組み
合計	47	100%	



# 4. 令和2年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(1) 炭鉄港を活用した室蘭線利用促進</p>	<p>室蘭線沿線の炭鉄港遺産やSL等の鉄道遺産を周知するポスターや散策コースチラシを沿線及び札幌圏の駅等で告知展開を行い、JRの利用促進を図った。</p>	 <p>(令和2年4月22日撮影・桑園駅)</p>	◎
<p>(2) 室蘭線写真コンテストの作品をSNSでアップ</p>	<p>室蘭線写真コンテストの応募作品111点をfacebook「室蘭線で出かけよう」のサイトで、順次掲載することにより、コロナ禍のもとでも室蘭線に関心を高めていただく取り組みを継続して実施した。</p>	 <p>(令和2年4月18日～掲載)</p>	◎

## 4. 令和2年度象徴的な取組について②



取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3) 出前授業・体験乗車で室蘭線を学ぶ</p>	<p>当社社員が栗山小学校で出前授業を実施した。2年生64名が、鉄道の仕事や列車の乗り方などを教わった後、乗車を体験した。出前授業・体験乗車は、由仁小学校、栗沢小学校でも実施し、鉄道に関心を高めてもらおう取り組みを行った。</p>	<p>(出前授業 令和2年9月18日撮影)</p>  <p>(令和2年9月24日撮影)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>
<p>(4) 鉄道利用助成金事業による室蘭線利用促進</p>	<p>室蘭線の利用促進を図るため、安平町は、室蘭線を利用するグループ旅行を助成する事業と炭鉄港等を絡めた「安平町発の室蘭線の旅」を具体的なプランとして町民に提案し、小学校の社会科見学や町内会の親睦会で利用された。</p>	 <p>(令和2年4月18日～掲載)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(5) 地域が主体となった団体臨時列車お出迎えイベント実施</p>	<p>10月17日、18日『北海道鉄道140年記念号で行く「炭鉄港」を巡る旅』にあわせ、JR室蘭線活性化連絡協議会※、炭鉄港推進協議会や観光協会等と連携し、停車駅にて沿線地域の特産品販売やPRイベント等を実施した。</p>	 <p>(令和2年10月18日撮影・追分駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(6) 一部列車を運休して線路集中メンテナンスを実施</p>	<p>鉄道施設を維持するために11月9日～13日、追分駅～沼ノ端間で一部列車を運休し、線路集中メンテナンスを実施した。約2,000本の木製マクラギを交換して線路の状態を改善した。</p>	 <p>(令和2年11月9日掲載・沼ノ端～追分間)</p>	<p>◎</p>

※苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町、岩見沢市で構成。

## 4. 令和2年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(7) 鉄道文化の歴史を伝える大型パネルを展示</p>	<p>安平町は、追分駅待合室に、鉄道文化の歴史を伝える大型パネルを展示した。安平町は、鉄道の町の玄関口として追分駅を情報発信に活用しており、室蘭線の利用促進のため、新たな魅力をPRした。</p>	 <p>(令和3年2月撮影・追分駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(8) SNSを活用した「魅力発信コンテスト」の実施</p>	<p>JR室蘭線活性化連絡協議会※は、室蘭線の新たな楽しみ方を発掘し、沿線の魅力を発信するとともに、来訪機会を創出するため、SNSを活用した「室蘭線で出かけようインスタお出かけコンテスト」を実施した。</p>		<p>◎</p>

※苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町、岩見沢市で構成。

## 5. 令和2年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、室蘭線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ 地域の皆様が主体となり北海道鉄道140周年を記念した団体列車の歓迎イベントやSNSを活用した地域情報発信に取り組んだ。
- ・ 学校教育現場にJR社員が赴き、室蘭線の歴史や鉄道の仕事、列車の乗り方教室や体験乗車を通じたマイレール意識の醸成を図った。
- ・ 街と鉄道の歴史をテーマとしたパネル展示の追分駅への設置や北の産業革命「炭鉄港」を活用した利用促進や鉄道利用助成制度を創設する等、地域情報や利用環境の整備に取り組んだ。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、基準とした平成29年度の目標値に対して、輸送密度は▲134人/日となり、目標は未達成にあるが、線区別収支は、車両運用の見直し等により基準とした平成29年度より72百万円改善した。
- ・ 第2期集中改革期間においても、マイレール意識醸成や日本遺産「炭鉄港」や地域の特色あるイベントによる圏外からの誘客や域内相互送客を実践するとともに、設備のスリム化や徹底した経費節減の取組みを推進する。



室蘭線 具体的取組

I. 利用促進

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を掌握するための実態調査実施※	JR北海道 全自治体	◎										
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、自治体のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	×										
	②「地域公共交通網形成計画」における室蘭線利用に向けた取組の実施	自治体	◎										
(3) マイレール意識醸成	①JR北海道に対する関心を高める取組												
	ア. 広報誌やホームページ等によるJRに関する利用促進特集等情報掲載※	全自治体	◎										
	イ. SNS等による情報発信	全自治体	◎										
	ウ. 鉄道とバス等を組み合わせた域内総合時刻表の作成・配付※	自治体	◎										
	エ. 地元住民との懇談会等の実施※	自治体	△										
	オ. 利用促進ポスターの作成と掲示	全自治体	◎										
	②ノーマイカーデー実施による鉄道利用促進	自治体	◎										
	③エリア内地上一般放送活用による鉄道利用促進広報活動の実施※	自治体	△										
	④車窓フォトコンテスト等の実施	全自治体 JR北海道	◎										
	⑤リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革の内容等について、利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	△										
⑥出前教室の実施 教育現場にJR社員が赴きJR北海道及び線区に関するPRを実施	JR北海道 全自治体	◎											

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(4) 他の交通機関等との連携	①バス等との相互連携の推進 ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	JR北海道 他交通機関	◎										
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所・売店・飲食店等の設置	自治体	◎										
	②駅舎の整備												
	ア. 合築による駅舎・待合室整備	自治体 JR北海道	◎										
	イ. 自治体による駅舎・待合室整備	自治体	◎										
	ウ. 駅付帯バリアフリー施設の整備・維持・管理	自治体	◎										
	エ. トイレ整備・維持・管理 ・地域による洋式トイレの整備・維持・管理 ・公営トイレの駅利用者利用	自治体 自治体	◎ ◎										
	③駅の活用 地域の皆様に自由に使っていただく取組	自治体 その他	◎										
	④駅を中心としたまちづくり 駅周辺への店舗・公共施設等の設置	自治体	◎										
(6) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	①駅的环境美化の取組 ・花壇等の整備・管理	自治体 その他	◎										
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携	全自治体 JR北海道	◎										

2. 生活利用

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	①大規模輸送障害発生時の運休等情報内容の充実	JR北海道	◎										
(2) 公共交通の利用促進	①鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施 ・通学定期への補助	自治体	◎										
	②行事等での鉄道利用及び呼びかけ	自治体	◎										

3. 観光利用

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 道内外から室蘭線にお越し いただくための取組	①沿線や札幌周辺地域にお住いの皆様を対象とした お出かけ勧誘 ア. ヘルシーウォーキングの開催情報の発信・PR※	JR北海道 自治体	◎										
	②宣伝協力 ア. 駅等での宣伝協力	JR北海道 自治体	◎										
	③着地型観光の取組実施 ア. 周遊ツールとしてのレンタサイクルの取組	自治体 その他	◎										
(2) 地域の皆様と連携した 取組の推進	①地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進の 検討・実施 ア. 地域イベント・お祭りの活用 ・鉄道利用者限定のお祭り会場利用クーポンの配布※ ・地域イベント等と連動した鉄道利用策の実施※	自治体 全自治体	◎ ◎										
	②地域との各種連携、観光資源の積極的な活用 ア. 北の産業革命「炭鉄港」を活用した室蘭線の利用 促進	自治体 JR北海道	◎										
	イ. 沿線の観光地、旅館、飲食店等と連携した取組の 実施 ・道の駅開業を活用した鉄道利用促進	自治体	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組



4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 都市間移動時の利用促進	①札幌等への出張時に、岩見沢・追分・沼ノ端・苫小牧までの鉄道利用※	自治体	◎								
	②学校行事等における鉄道利用の提案・呼びかけ・修学旅行・部活動(全国・全道大会)	自治体 JR北海道	◎								

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託 ア. 乗車券の発売	自治体	◎								
	②当社の行き届かない取組 ア. 防犯カメラの設置・運用	自治体	◎								
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止について各自治体との協議	JR北海道 自治体	×								
	②ご利用の少ない踏切の見直しについて各自治体との協議	JR北海道 自治体	△								

III. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について自治体の皆様と検討の開始	自治体 JR北海道	×								
	②2次交通との連携に向けた検討 鉄道とバスの連携により相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討	自治体 JR北海道	×								
	③「地域公共交通網形成計画」における室蘭線を利用するための検討	自治体 JR北海道 その他	△								
(2) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	自治体 JR北海道 その他	×								
(3) 中長期的な経費節減策についての検討	①中期的視点に立った設備の見直しやスリム化策の検討・協議	自治体 JR北海道	×								
(4) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①当社の行き届かない取組に対する自治体側での実施の検討	自治体 JR北海道 その他	×								
(5) 中長期的に鉄道設備を維持するための取り組みの検討	①「線路集中メンテナンス日」を設定したマクラギ交換工事の実施	JR北海道	◎								

**アクションプラン**  
**第1期計画2年目報告書**  
**(令和2年度)**

**日高線**

---

**令和3年8月**

**日高線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画2年目の取組状況について、日高線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **第1期計画2年目は、新型コロナウイルスの影響を受けたが、感染拡大防止に最大限留意しながら、線区を活性化するためアクションプランの推進に取り組んだ。**
- **本検証を踏まえ、JR北海道の徹底的な経営改善を前提として、日高線を持続的に維持する仕組みを構築のため、JR北海道と地域の関係者が協力しながら、第2期集中改革期間（令和3年度～令和5年度）において、より効果的な実施策を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲292百万円となり基準とした平成29年度より134百万円改善した。  
営業収益は、新型コロナウイルスの影響があったものの、むかわ町による北海道鷓川高校への定期券助成による定期券収入の下支えと鷓川～様似間の廃止前の入場券販売の増加により、収入が対前年2百万円増加した49百万円(対前年104%)となった。営業費用は経費削減に取り組んだことにより37百万円減少した341百万円(対前年90%)となり、営業損益は39百万円改善した。
- ・輸送密度は476人/日となり、基準とした平成29年度より27人/日増加した。

#### ▼令和2年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲426百万円	▲292百万円	134百万円	達成
輸送密度	449人/日	476人/日	27人/日	達成

# 3. 具体的取組の検証



## (1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が54%、一部達成「△」が26%、未達成「×」が20%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

▼令和2年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	19	54%	「利用実態調査」「鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施」などの取組み
△	9	26%	「地元住民との懇談会等の実施」「沿線をPRするラッピング列車運行の検討」などの取組み
×	7	20%	「限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施」「相互連携の検討」などの取組み
合計	35	100%	

## 4. 令和2年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1) 定期券助成による列車通学の継続</p>	<p>むかわ町は、令和元年度から苫小牧市内から北海道鷓川高校へのスクールバス通学を取り止め、定期券助成を実施し、JR利用へシフトする取り組みを行っており、令和2年度も継続した。上期は、この制度を同校生徒63名が活用し、JRで通学した。</p>	 <p>(令和2年7月10日撮影)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>
<p>(2) 鷓川駅ホーム舗装を改修</p>	<p>4月23日、鷓川駅1番・2番ホーム及び旅客通路のカラーゴムチップによる舗装工事が完了し、ホーム上の段差やひび割れが解消し、安全性・利便性が向上した。</p>	 <p>(令和2年4月23日～掲載)</p> <p style="text-align: center;">◎</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(3) 公共交通利用促進 ポスター作成・掲示</p>	<p>苫小牧市が公共交通の利用促進に取り組みました。9月12～13日「たるまえサンフェスティバル」にあわせ、会場までの鉄道やバス時刻を掲載したポスターを作成し、苫小牧市内の駅及び公共施設に掲出した。</p>	<div data-bbox="1442 485 1711 863" data-label="Image"> </div> <p>(令和2年9月12・13日イベント開催)</p>
<p>(4) 鷗川駅を花で飾り おもてなし</p>	<p>鷗川中学校の協力を得て、鷗川駅周辺環境美化の取組みとして、花壇整備や花を植栽したプランターを設置。維持管理も鷗川中学校生徒が担当し、鷗川駅をご利用のお客様を花でおもてなしする取組みを昨年に引き続き実施した。</p>	<div data-bbox="1308 959 1872 1326" data-label="Image"> </div> <p>(令和2年6月12日撮影)</p>

## 4. 令和2年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	取組状況等	目標達成
<p>(5) 定期券助成による列車通学を下期も継続</p>	<p>むかわ町は、令和元年度から苫小牧市内から北海道鷓川高校へのスクールバス通学を取り止め、定期券助成を実施し、JR利用へシフトする取り組みを行っており、令和2年度も継続した。 下期も61名の生徒がJRを利用している。</p>	 <p>(令和2年10月22日撮影・鷓川駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(6) 公共交通利用促進ポスター作成・掲示</p>	<p>苫小牧市は公共交通の利用促進のため11月22日「JRヘルシーウォーキング2020」の苫小牧開催にあわせ、会場までの鉄道やバス時刻を掲載したポスターを作成し、日高線沿線の駅及び公共施設に掲出した。</p>	 <p>(令和2年11月22日イベント開催)</p>	<p>◎</p>



## 4. 令和2年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成	
<p>(7) 苦小牧駅トイレ改修による利便性の向上</p>	<p>苦小牧市の補助事業により、老朽化していた苦小牧駅改札前のトイレの内外装の改修や洋式化を行った。これにより駅の利便性が向上した。</p>	 <p>(3月撮影・苦小牧駅)</p>	<p>◎</p>
<p>(8) 公共交通利用促進ポスター作成・掲示</p>	<p>苦小牧市は12月1日～2月14日「TOMAILLU SQUARE2020」の開催にあわせ、会場までの鉄道やバス時刻を掲載したポスターを作成し、日高線沿線の駅及び公共施設に掲出した。</p>	 <p>(令和2年12月1日～令和3年2月14日イベント開催)</p>	<p>◎</p>

## 5. 令和2年度取組の検証

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に最大限留意しながら、JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランを推進することにより、日高線を活性化するために取り組む機運の醸成がなされた。
- ・ 輸送密度は新型コロナの影響により前年を下回ったものの、昨年度から実施している、むかわ町の「定期券助成によるスクールバスから列車通学へのシフト」の効果により目標を超える成果を上げることができた。
- ・ 苫小牧市の公共交通利用促進ポスターによる利用促進や厚真町の公共交通ガイドブック作成も利用促進に繋がった。
- ・ 新型コロナウイルスによる利用減少があったものの定期券助成による下支えと鷗川～様似間の廃止前の収入増があったことにより、基準とした平成29年度の目標値に対して、線区別収支は+134百万円、輸送密度は+27人/日となり、目標を達成した。
- ・ 第2期計画の取組は、むかわ町の定期券助成による鷗川高校生の列車利用の取組を継続するとともに、マイレール意識醸成に取り組み、むかわ竜ラッピング列車の運行開始による圏外からの誘客に取り組む。  
また、地域の関係者との協力を得ながら設備のスリム化や徹底した経費節減の取り組みを推進する。

日高線 具体的取組

I 利用促進  
1 共通

区分	取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 利用実態調査	①統計値では把握したいお客様の層等を掌握するため実態調査の新設※	JR北海道 全自治体	◎										
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	×										
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組												
	ア. JRに関する利用促進特集等沿線自治体相互間の送客に向けた情報掲載※	全自治体 その他	◎										
	イ. 鉄道とバスを組み合わせた域内総合時刻表の作成・配布	自治体	◎										
	ウ. 地元住民との懇談会等の実施 ・自治体主催出前講座への登録・開催※	自治体 JR北海道	△										
	②リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解頂く資料の作成	JR北海道	△										
(4) 他の交通機関等との連携	③出前教室等の実施 教育現場にJR社員が赴く出前勉強会や駅の課外授業受け入れ等で線区に関するPRを行う※	JR北海道 全自治体	◎										
	①バス、タクシー等との相互連携の推進												
(5) 拠点としての駅の活用	ア. ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	全自治体 JR北海道 その他	◎										
	①観光案内所・売店・飲食店等の設置の検討	自治体 JR北海道 その他	◎										
	②駅舎の整備												
	ア. 駅舎・待合室の整備 ・自治体による駅舎・待合室の整備	自治体	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

区分	取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
	イ. 駅付帯バリアフリー施設・維持・管理 ・ホーム、改札に繋がるエレベーター付自由通路整備	自治体	◎										
	・オストメイトトイレの設置	自治体											
	ウ. トイレ整備・維持・管理 ・洋式トイレの整備・維持・管理	自治体	◎										
	③ 駅前の整備 ・駅前広場の整備・維持・管理	自治体	◎										
(6) 全道利用促進取組との連携	① 北海道鉄道活性化協議会との連携の検討	全自治体 JR北海道	◎										

## 2 生活利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	① サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等の情報内容の充実	JR北海道	◎										
(2) 公共交通の利用促進	① 鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施	自治体	◎										
	② 行事等での鉄道利用 ・日中時間帯の鉄道利用を図るため行事等での鉄道利用を依頼※	全自治体	◎										

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

### 3 観光利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール							
				H29		H30		R1		R2	
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) 道内外から日高線にお越しいただくための取組	①沿線や札幌周辺地域にお住まいの皆様を対象にしたお出かけの勧誘	全自治体 JR北海道	◎								
	②宣伝協力 ア. 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力(ポスター等の掲出・プロモーション等の実施)	JR北海道 全自治体	△								
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線人気イベントを活用した鉄道利用促進※	全自治体 JR北海道	◎								
	②沿線をPRするラッピング列車運行の検討	自治体 JR北海道	△								
	③JR利用者への地元施設特典を付与し、JR利用促進と地元施設の活性化を図る	自治体 その他 JR北海道	△								

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

### 4 広域交通

区分	取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール							
				H29		H30		R1		R2	
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) 出張等での鉄道利用	①官公庁・域内事業所等において、札幌までの出張時等に、苫小牧～鷗川間の鉄道利用に取り組む	全自治体 JR北海道	◎								
	②学校行事等における鉄道利用促進の提案・呼びかけ※	全自治体 JR北海道	◎								

※新型コロナウイルスの影響で、事業の中止・縮小などが発生した取組

### II 経費節減

区分	取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール							
				H29		H30		R1		R2	
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務のお手伝いをお願い ・駅清掃・巡回・ホーム除雪	自治体	◎								
	②当社の行き届かない取組に対するご協力	自治体	△								
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	△								
	②ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	×								

Ⅲ. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

区分	取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	×										
	②2次交通との連携に向けた検討 ・鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	×										
	③「地域公共交通網形成計画」の策定 ・日高線と他の交通機関で連携した地域最適な公共交通ネットワーク再構築への検討	自治体	△										
(2) 中長期的な利用促進策についての検討	①中長期的な視点に立った利用促進施策の検討	全自治体 JR北海道 その他	×										
(3) 中長期的な経費削減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討可能性の検討	全自治体 JR北海道	×										
(4) 中長期的な駅前の整備についての検討	①中長期的な視点に立った駅前の整備 ・駅前広場の再整備駅前広場に必要機能・配置やバリアフリー化の検討	自治体	△										
(5) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	全自治体 JR北海道	×										